

令和元年 理事会議事録（第1回）

2019年6月6日（木）19:00～21:30

新上三川病院 会議室

理事出席：仲田、谷口、横山、小島、高村、和久井、岩瀬、有馬、松川、坂田、渡邊 欠席：遠藤

監事出席：黒淵、松崎

副部長出席：亀山、久米、友利、岡田、須藤 欠席：稲村 順不同、敬称略

議長：坂田 書記：友利

議案

I. 報告事項

【会長】

① 2019年度厚生労働省委託「介護ロボットのニーズ・シーズ連携協調協議会」の設置報告

委員長：仲田 和恵(会長)

副委員長：有馬 正人(理事)

事務局：仲田 海人(皆藤病院)

委員：久米 真菜美(尾形医院)

委員：池澤 俊光(訪問看護ステーションえすぼ)

② 栃木県災害リハビリテーション支援関連団体協議会の発足

2019.4.5 栃木 JRAT 代表者会議にて決定 代表：船越医師 副代表：大屋 PT 士会長

委員：OT2名(仲田会長・松川理事) ST1名 PT1名 医師1名 Ns1名

③ 令和元年度第2回47委員会(7/27～28)オブザーバー参加者⇒横山副会長

④ OT協会災害対策室より

大規模災害発生を想定したシミュレーション訓練 2019.9.25(火)13時より 47士会で開催

【事務局】

⑤ 委嘱状について

理事、各部の構成員に対して委嘱状作成し、6月6日に交付

⑥ 2019年度「厚生労働省指定臨床実習指導者講習会」に士会として以下5名を推薦

渡邊氏・大橋氏・野尻氏(マロニエ医療福祉専門学校)

関森氏・野崎氏(国際医療福祉大学)

⑦ 栃木県自立支援協議会相談支援部会 地域移行ワーキンググループ委員 以下2名を推薦

遠藤氏(地域生活支援センター ゆずり葉) 亀山氏(宇都宮西ヶ丘病院)

⑧ 生活行為向上マネジメント 士会連携推進連絡会議 8月25日(日) 大阪にて開催

参加者：高田 智美 氏(介護老人保健施設 リハビリパークぶどうの舎)

五月女 彩貴 氏(那須赤十字病院) ※オブザーバー

⑨ 住宅改修・福祉用具研修会(6月2日開催) 他県士会へ広報依頼(5月8日付け)

⑩ 障害者・高齢者向けリモコン 「レッツ・リモコン」 パナソニック エイジフリー(株)

1)レッツ・リモコン ST 3台 2)レッツ・リモコン AD 3台 3)入力スイッチ 1台

⇒住宅改修福祉用具委員会に管理・運用方法を一任

⑪ 「リハビリフォーラム」後援名義に係る実績報告書及び概要

⇒6月1日付けで郵送(7団体)済み

⑫ 県民税、市民税の納付について ⇒4月18日納付済み

⑬ 栃木県公衆衛生協会会費について ⇒5月24日納付済み

【教育部】

・研修会実施予定

	日程	開催場所
現職者共通研修会	令和元年6月16日開催予定	鹿沼市民情報センター
現職者選択研修(老年期分野)	令和元年9月1、15日 10月13日を候補日	
現職者選択研修(MTDLP基礎研修)	令和元年12月1、8日を候補日	
MTDLP実践者研修	令和2年1月の日曜日を予定	
MTDLP事例書き方研修会・不合格事例の分析検討会	令和元年8～9月を予定	県北、県央地域で検討

⑭ シール管理について

今年度請求枚数：3,000枚

配布状況： 学術部1,200枚 地域リハ推進部1,000枚 教育部(保管)800枚

【財務部】

⑮ 今年度活動費の分配について

活動費が9万円以内の部・委員会は満額配布。9万円を超える部・委員会は上半期分を配布。

⑯ 財務部連絡先変更について

新連絡先：nobuakiko@jadecom.jp (教育部より財務部へ変更)

※ 連絡先移行に伴い7月末までは旧アドレスと並行して使用していく。旧アドレスは横山副部長が管理。

⑰ 今年度年会費納入者人数 (6月5日時点)

納入者：185名 (26施設)

【住宅改修福祉用具委員会】

⑱ 研修会報告

日時：6月2日 会場：獨協医科大学

テーマ：「クライアントの健康と幸福を目指す目標設定」 齋藤佑樹先生 (仙台青葉学院短期大学 准教授)

参加者：35名

⑲ とちぎ福祉用具発明・工夫・適応コンテスト

今年度も開催し、栃木県作業療法学会時に表彰式および作品展示を行う。

【災害リハビリテーション対策委員会】

⑳ 連絡網の整備について

今後事務局管理の会員名簿を確認し作成していく。

㉑ ボランティア活動の登録者増加に向けた活動

広報部に依頼し災害リハ対策委員会のメールアドレスを作成、登録用紙を送付してもらう方法としていく。

【自動車運転支援検討委員会】

㉒ 今市教習所との連携に向け5月23日に第1回目の話し合いを実施。

【栃木県作業療法学会準備委員会】

㉓ 第10回栃木県作業療法学会の開催について

日時：11月17日(日)

会場：国際医療福祉大学

学会テーマ：「作業療法のこれまでとこれから(仮)」

一般演題募集は6月7日から7月12日まで。 *県士会ホームページにて会員へ公開。

【第21回とちぎリハビリテーションフォーラム実行委員会】

㊦ 第21回とちぎリハビリテーションフォーラム 実績報告

日程：5月26日 会場：とちぎ健康の森 生きがいきづくりセンター 2階講堂

参加者：118名（OT：68名、他職種：47名、学生：3名）

一般参加者をいかにして増やすかが課題。

【事業部】

㊧ 今年度の活動について

以下の日程で広報活動を実施。

日時	依頼元	場所
7月7日（日）	宇都宮市	ベルモール
9月21日（土）	那須塩原市	那珂川河畔公園
10月27日（日）	佐野市	佐野市総合福祉センター周辺

㊨ 障害・福祉の相談窓口について

チラシを作成済み。今後栃の実、県士会HPに掲載していく。

相談窓口は、遠藤氏（地域生活支援センター ゆずり葉）、山口氏（一般社団法人ブリッジ）。

【福利厚生部】

㊩ 新入会員歓迎会の実施報告

日時：4月21日 会場：ろまんちっく村内施設 ゆず庵

参加者：88名（新入会員53名、既存会員35名）

II. 審議事項

【会長】

① 理事会議事録のHP掲載について

事務局にて作成し、理事回覧後に広報部へ掲載依頼 ⇒ 承認

② 次期（第11回は県央ブロック担当）県学会長について

有馬理事が担当 ⇒ 承認

【事務局】

③ 2019年度「厚生労働省指定臨床実習指導者講習会」士会推薦者の費用負担について

前年度と同様に参加費（1,000円）、交通費、宿泊費を士会負担とする ⇒ 承認（臨床実習指導者研修委員会より支出）

④ 休会制度の整備について

事務局業務が更に煩雑となることが懸念されるため、現時点では協会員＝士会員の履行（2022年）に向けた協会の動きを見ることとする。

⑤ 入会届、退会・異動届けについて

現状の紙媒体での申し込みと併せて、電子媒体（メール）での申し込みも許可したい。それに伴い、士会HP上のファイル形式をPDFからwordへ変更し、HPや栃の実にて士会員への周知を図る。事務局としてはメールでの送付を推奨し、今後は届出を電子管理していく。 ⇒ 承認

【学術部】

⑥ 分野別研修会の参加費 及び入会手続き・年会費徴収（非会員）について

受講者が非会員であった場合の対応

1) 会員とは区別して講習会費を徴収

2) 入会届とともに会費納入の確約を得た上で、会員と同額を徴収 にて対応とする。

【教育部】

⑦ ホームページの掲載に関して

教育部の事業はすべて HP カレンダーに記載して欲しい ⇒ 広報部承認

⑧ 士会裁量ポイントの情報収集について

各部・委員会等の協力者のリストアップに伴い名簿を送付して欲しい ⇒ 事務局より一括して送付

【財務】

⑨ 今年度会計担当者の意向を踏まえて、通帳を増刷予定。手続き等にあたり銀行印が必要となる。銀行印の管理を事務局から財務部としたい。 ⇒ 事務局承認。今後、銀行印は財務部にて管理とする。

⑩ 事務局の会員管理システムの情報共有について確認と依頼

1) 入会/異動/退会等 理事回覧時の項目追加に関して

・追記の情報として、全員分のかな氏名(またはカナ)の明記は可能か ⇒ 可能

・異動が伴う会員の元の所属の明記は可能か

⇒ 可能。異動届、会員管理システム、士会管理名簿を確認し、明記する

2) 士会名簿データの理事回覧は可能か

⇒ 個人情報保護の観点から、必要理由に応じて事務局にて開示を判断する

3) OT 協会会員であり、士会非会員の者を抽出することは可能か

⇒ 会員管理システムにて協会会員を把握し、士会会員名簿と照合することで可能であるが、作業に時間を要する

【横山副会長】

栃木リハビリテーション専門職協会のリーダー育成研修参加者において、当士会として参加基準があった方が良いのではないか。 ⇒ 参加基準は今後地域リハ推進部で検討とする

【災害リハビリテーション対策委員会】

メーリングリストの登録者を増やす方法を検討したい。

⇒ 各研修会の領収書にメーリングリスト用の QR コードを記載し、広報の一助とする。

広報部より後日 QR コードを理事へ配信

次回理事会： 2019年8月8日(木) 19:00～

会場：新上三川病院